

研究機関名：東北大学

受付番号：	2012-1-328
研究課題名	胆道閉鎖症早期発見のための新版便色カードシステムについての評価に関する研究
研究期間	西暦 2012年 10月（倫理委員会承認後）～ 2016年 3月
対象材料	<input type="checkbox"/> 病理材料（対象臓器名） <input type="checkbox"/> 生検材料（対象臓器名） <input type="checkbox"/> 血液材料 <input type="checkbox"/> 遊離細胞 <input checked="" type="checkbox"/> その他（診療録）
上記材料の採取期間	西暦 2007年 4月～ 2012年 10月
意義、目的	早期発見、早期治療が重要である胆道閉鎖症において、早期発見ツールとして便色カラーカードがある。旧来のものを改訂して使用したパイロットスタディが平成 23 年度に宮城県で行われ、平成 24 年度からは全国で導入されることとなった。このシステムの有効性を確認することが胆道閉鎖症の治療成績向上のために必要であるために、本研究が施行される。
方法	診療録を参照して診断日齢、手術時日齢の平均値と中央値を下記3群間で比較する。 1) 新版便色カラーカードを利用した患児 2) 旧版（現行）便色カラーカードを利用した患児 3) 便色カラーカードを利用していない患児
問い合わせ・苦情等の窓口	東北大学病院 小児外科 佐々木英之 〒980-8574 仙台市青葉区星陵町 1-1 電話 022-717-7237